

## 2-3 三陸はるか沖の北部に発生した地震（平成6年4月8日 M6.6） On the Earthquake far off Sanriku (April 8, 1994 ; M6.6)

仙台管区気象台  
Sendai District Meteorological Observatory, JMA

### 地震の概要

平成6年4月8日10時10分、三陸はるか沖の北部（日本海溝の西側）でM6.6の地震が発生し、北海道から東北地方にかけての広い範囲で有感となった（第1図）。

この地震（本震）により、三陸沿岸の八戸で5cm、大船渡で11cm、鮎川で6cm（津波の高さの最大：観測通報値）の小津波が観測された。

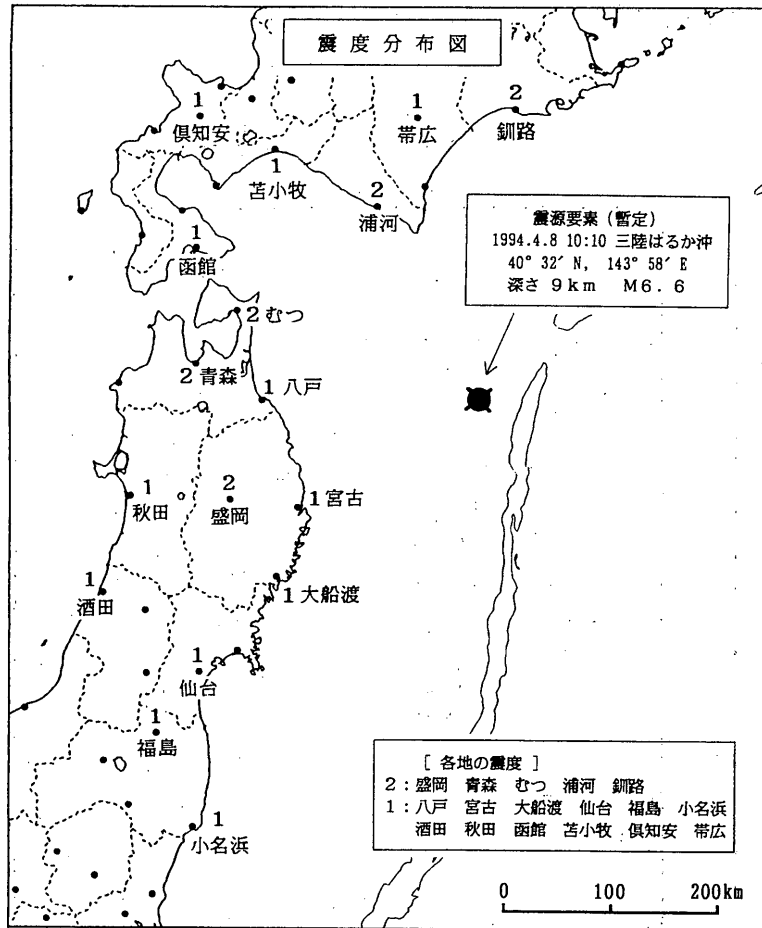
本震発生後この海域（第3図；A海域）では、8日中に114回、9日には48回の余震が発生するなど、一時活動が活発となったが、10日以降余震の回数は急速に減少した（第2図）。

仙台管区気象台で震源決定した地震の震央分布図（第3図）、及びM-T図・時空間分布図（第4図）で見ると、本震発生の約17時間前（7日17時17分）には、前震と見られる地震（M2.7）が震源域の南東端で発生している。

### 過去の地震活動

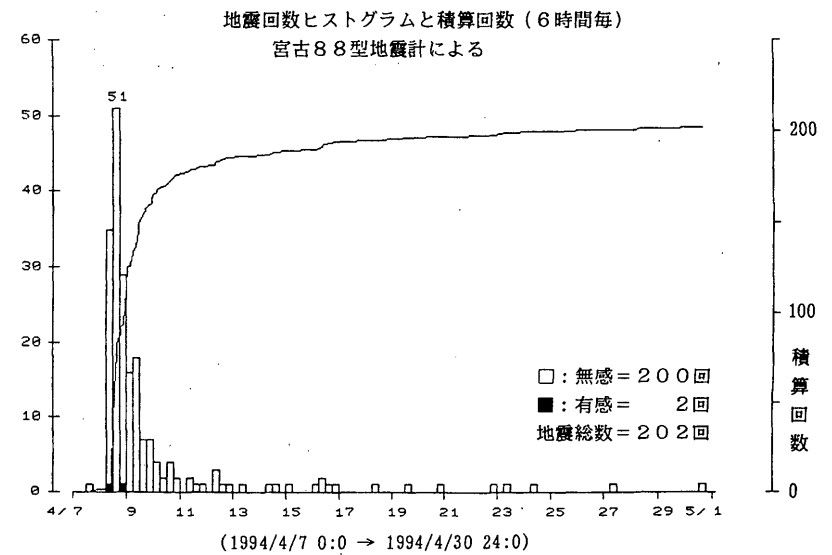
同海域（第3図；A海域）における過去1年間の地震発生状況（第5図）を見ると、特に注目される活動はない。

1926年以降のM6.5以上の地震活動図（第6図）で見ると、今回の地震は、三陸はるか沖の北部の地震としては過去にM6.5以上の地震がなかった部分を埋める形に発生しており、1968年5月16日十勝沖地震（M7.9）以降では、1979年2月20日（M6.5）以来の地震となった。



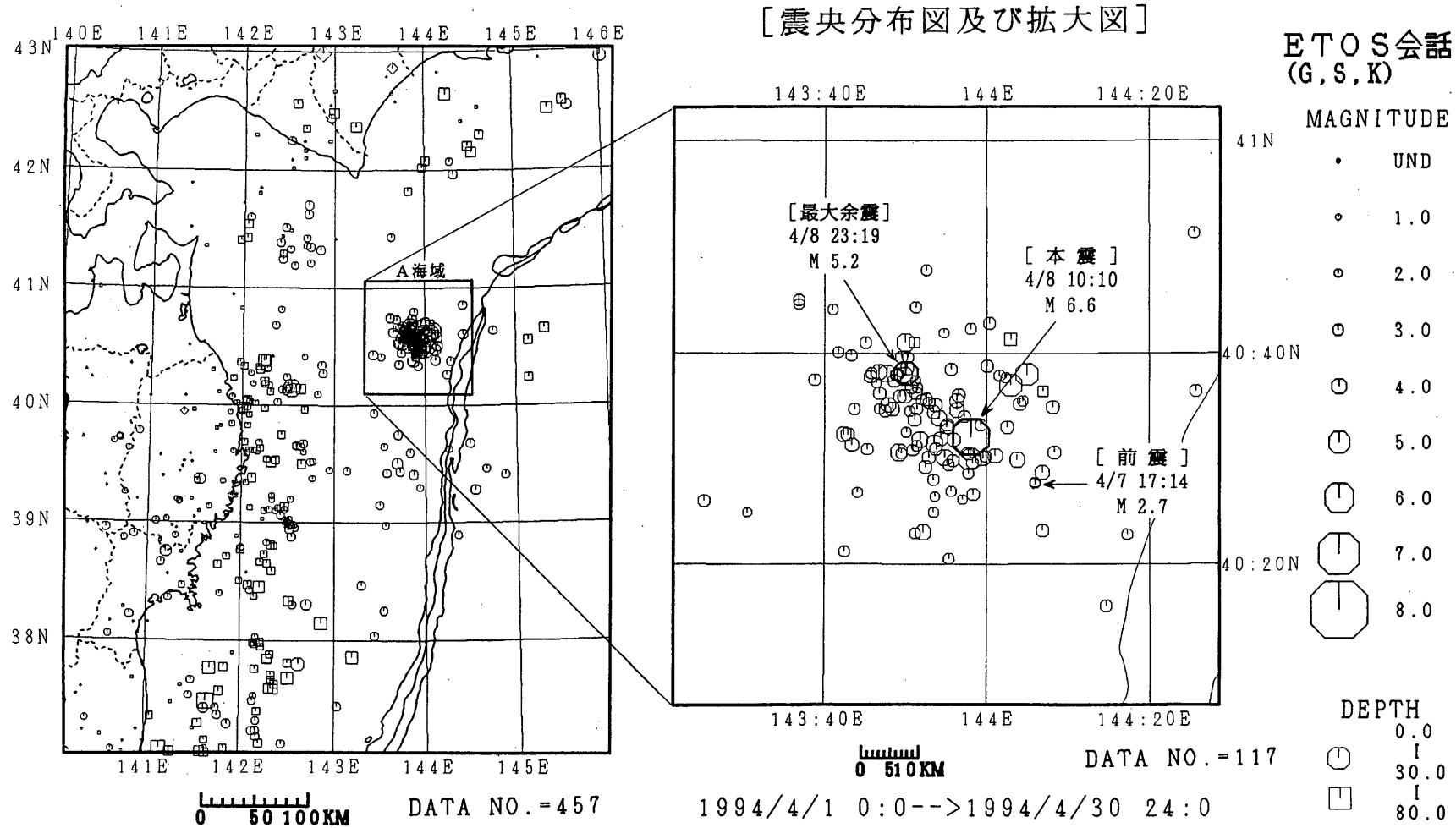
第1図 三陸はるか沖北部の地震による震度分布図  
(平成6年4月8日; M6.6)

Fig.1 Distribution of seismic intensities for the earthquake far off Sanriku (April 8, 1994; M6.6).



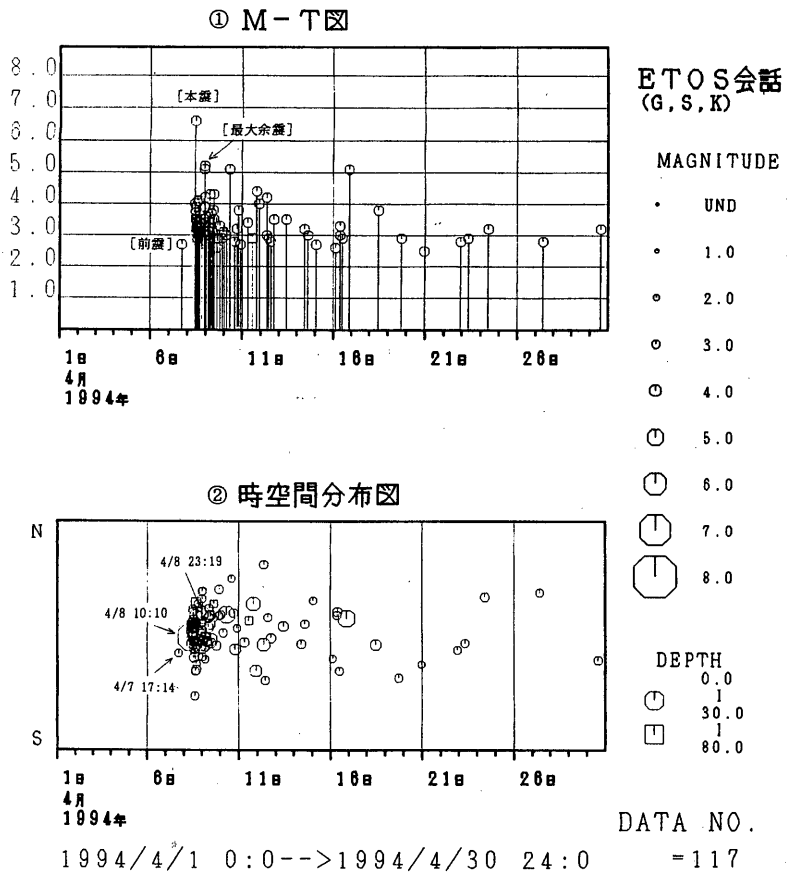
第2図 宮古88型地震計による地震回数 (6時間毎) と積算回数

Fig.2 Frequency (6 hourly) and cumulative number of earthquakes detected by the 88-type seismograph in Miyako.



第3図 震央分布図 (1994年4月1日~4月30日, 深さ $\leq$ 80km)

Fig.3 Epicentral distribution (April 1-30, 1994;  $h \leq 80$ km).



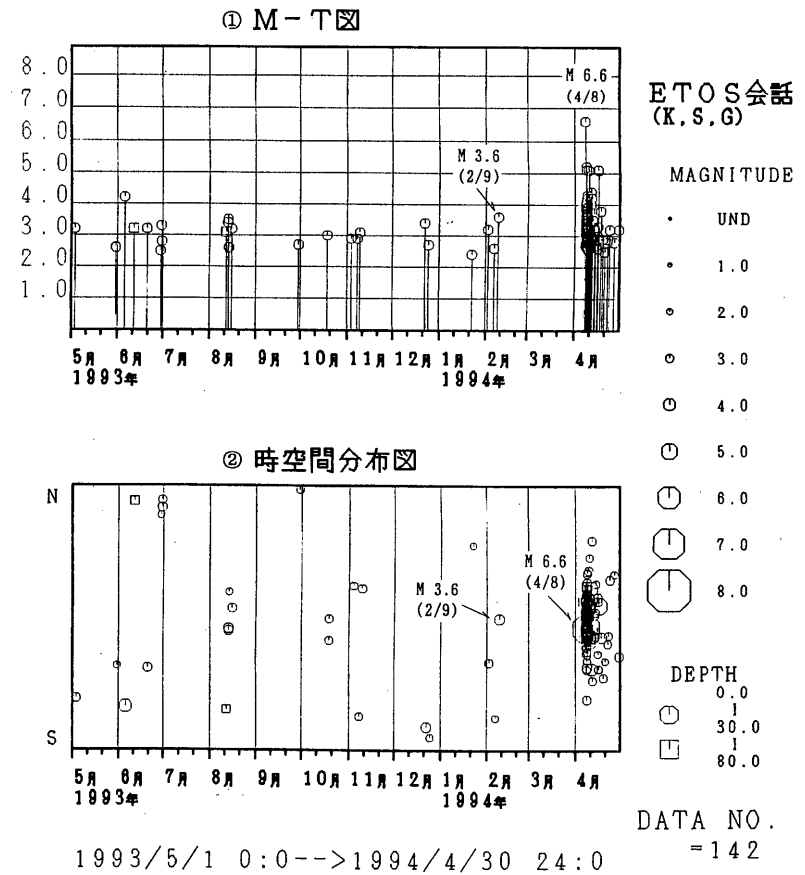
第4図 第3図A海域の地震活動

(1994年4月1日～4月30日, 深さ $\leq$ 80km)

①: M-T図, ②: 時空間分布図

Fig.4 Seismic activity in the A-area of Figure 3 (April 1-30, 1994;  $h \leq 80$ km).

①: M-T diagram, ②: Space-time plot.



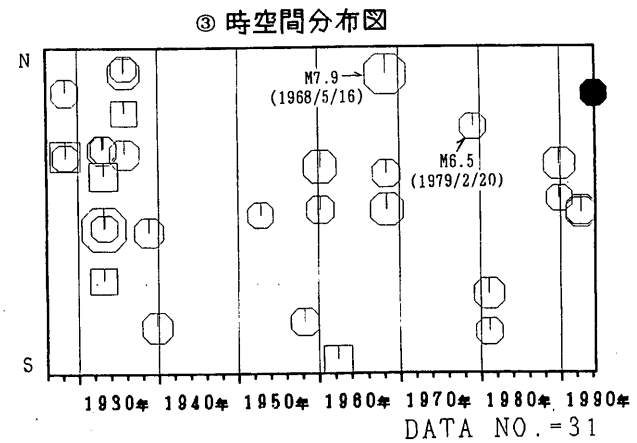
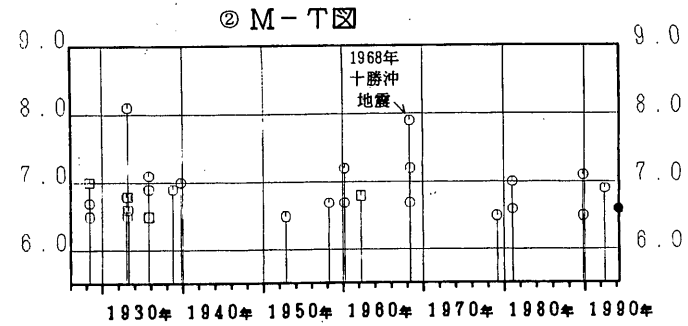
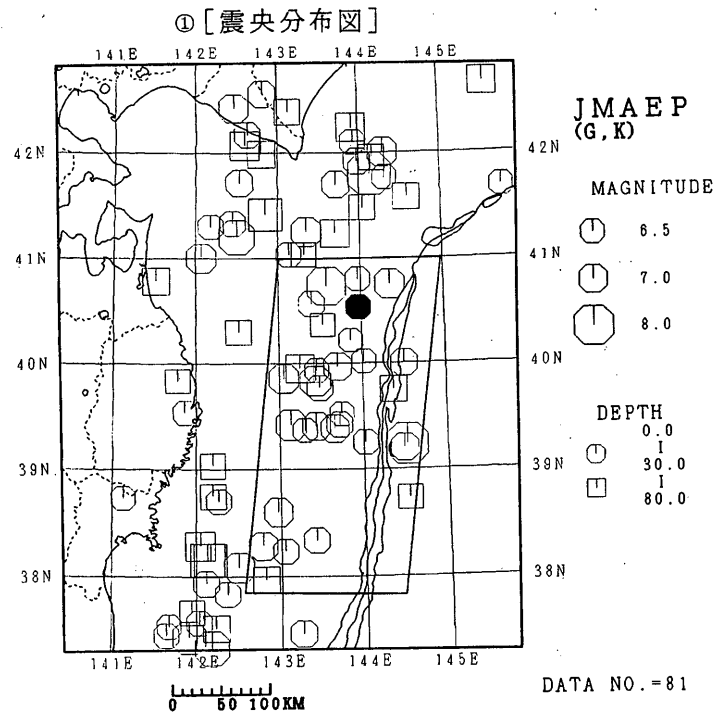
第5図 第3図A海域の地震活動

(1993年5月1日～1994年4月30日, 深さ $\leq$ 80km)

①: M-T図, ②: 時空間分布図

Fig.5 Seismic activity in the A-area of Figure 3 (May 1, 1993-April 30, 1994;  $h \leq 80$ km).

①: M-T diagram, ②: Space-time plot.



第6図 1926年以降の地震活動図 ( $M \geq 6.5$ )

① : 震央分布図, ② : M-T図, ③ : 時空間分布図

Fig.6 Seismic activity ( $M \geq 6.5$ ) after 1926.

① : Epicentral distribution, ② : M-T diagram, ③ : Space-time plot.